

2020.12.26. 12/26

# 取得判断年度内は困難

郷のぼかん

## 庄原市、観光需要見極めへ

庄原市は25日、日本郵政（東京）から譲渡の打診を受けている温泉宿泊施設かんぼの郷庄原（新庄町）について、市が取得するかどうかの方向性を本年度中に決めるのは困難との見方を示した。新型コロナウイルス禍で観光需要の見通しが不透明になった上、取得する場合の運営形態や収支について、市場調査に基づくシミュレーションを市民に説明する手続きが必要であることを理由に掲げた。

この日の市議会企画建設委員会で説明した。かんぼ取得を巡る最終判断は、当初の期限としていた今年3月末から1年以上延びる。

更新を働き掛けたい。市がコロナ対応に苦慮していることを理解していただいている」と説明した。

かんぼを運営する市の第三セクター「サンヒルズ庄原」と日本郵政との業務委託契約は来年3月末まで。

市は、取得の判断材料とするため7月に民間に委託した経営分析調査の結果を公表した。報告書は、光熱水費、人件費、日本郵政への受託業務手数料などが財務を圧迫していると分析。

委員会では、市が判断を留保したまま契約が切れ、4月以降休館となる可能性への懸念の声が上がった。企画課の東健治課長は「日本郵政に対し4月以降の契約

の観光スタイルが標準的となり、自然豊かな庄原にはチャンスがあると指摘。付加価値を高めて高品質のコンセプトを打ち出すべきだとしている。

更新を働き掛けたい。市がコロナ対応に苦慮していることを理解していただいている」と説明した。

市は、取得の判断材料とするため7月に民間に委託した経営分析調査の結果を公表した。報告書は、光熱水費、人件費、日本郵政への受託業務手数料などが財務を圧迫していると分析。

委員会では、市が判断を留保したまま契約が切れ、4月以降休館となる可能性への懸念の声が上がった。企画課の東健治課長は「日本郵政に対し4月以降の契約

更新を働き掛けたい。市がコロナ対応に苦慮していることを理解していただいている」と説明した。

更新を働き掛けたい。市がコロナ対応に苦慮していることを理解していただいている」と説明した。

更新を働き掛けたい。市がコロナ対応に苦慮していることを理解していただいている」と説明した。

市は今後、検討を重ね、取得方針の場合、運営形態や改修費などシミュレーションを市民に説明する機会を設ける意向。東課長は「市民に丁寧に説明しコロナの状況を踏まえて結論を急ぎたい」と話している。

市は今年2月、取得額を約2億5千万円と見積もっている。当初は3月末までに判断する予定だったが、コロナ禍で同月の市民説明会を中止。4月、判断を「当面の間」延期すると決めた。

(小島正和)